平成 **29** 年度

# 新最終処分場(仮称)第2エコパーク

# 環境モニタリング調査の結果概要

施設の建設工事や稼動において、周辺環境の保全が適切に図られているかを確認する ため、毎年、環境モニタリング調査を実施します。

今回は、(仮称)第2エコパーク建設工事中における大気質、騒音・振動、水質、動植物の調査結果をお知らせいたします。(平成29年1月~平成30年3月)

## 調查項目

生活環境				自然	環境		
	大気質		騒音	振動	水質	植物	動物
二酸化窒素	浮遊粒子状物質	降下ばいじん	岁虫 日	1灰野	小貝	保全対象種	保全対象種

## 環境保全措置

第2エコパーク建設工事においては、周辺環境の保全を適切に図るため、以下の保全措置を実施しています。

項目		保全措置					
		・粉じんの発生抑制、排ガス対策型機械の使用					
	大気質	・点検・整備による性能維持、適正速度での走行					
		・造成面の早期緑化及びコンクリート吹付の実施					
生活環境		・低騒音型の建設機械の使用,防音シートの設置					
	騒音・振動 	・工事用車両の点検・整備による性能維持、適正速度での走行					
	→	・濁水ろ過フィルター、濁水処理プラントの設置					
	水質	・暗渠排水管の敷設					
占外理控	植物	・生育適地への移植					
自然環境	動物	・防音シートの設置					

# 調査結果及び評価の概要 【生活環境】

## 1 大気質

## 1) 二酸化窒素

取付道路工事,本体建設工事が同時に施工されている状況においても環境保全計画値を下回りました。

環境保全措置を実施した結果,周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【取付道路工事中】

単位:ppm

調査場所	調査日・期間		調査結果	環境保全		
则14.物门	则且 I 产	工事前	予測値	工事中	計画値	
建設地南西側	平成 29 年 5 月 25 日~31 日	0.004	0. 028	0.006		
(民家隣地)	平成 29 年 9 月 9 日~15 日	0.004	0.028	0.004	1 時間値の 1 日平 均値が 0.04ppm~ 0.06ppm までのゾ	
グリーンタウン	平成 29 年 5 月 25 日~31 日	0.006	0.027	0.007	し. 00ppm までの/ ーン内又はそれ 以下であること	
(第6公園)	平成 29 年 9 月 9 日~15 日	0.000	0.021	0.003		

## 【取付道路工事及び本体建設工事中】

単位:ppm

調査場所	   調査日・期間		調査結果	環境保全	
则且 <i>物门</i>		工事前	予測値	工事中	計画値
建設地南西側 (民家隣地)	平成 30 年 2 月 6 日~12 日	0.004	0.028	0.009	1 時間値の1日平 均値が 0.04ppm~ 0.06ppm までのゾ
グリーンタウン (第6公園)	平成 30 年 2 月 6 日~12 日	0.006	0.027	0.007	し. 00ppm までの/ ーン内又はそれ 以下であること

#### 2) 浮遊粒子状物質

取付道路工事、本体建設工事が同時に施工されている状況においても環境保全計画値を下回りました。

環境保全措置を講じた結果、周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【取付道路工事中】

単位:mg/m³

調査場所	調査日・期間		調査結果	環境保全	
- 神生物別		工事前	予測値	工事中	計画値
建設地南西側	平成 29 年 5 月 25 日~31 日	0.014	0. 043	0.036	1時間値の1日平均
(民家隣地)	平成 29 年 9 月 9 日~15 日	0.014	0.043	0.028	値が 0.10 mg/m³以下 であり,かつ,1 時間
グリーンタウン	平成 29 年 5 月 25 日~31 日	0. 014	0. 042	0.030	値が 0.20 mg/m <sup>3</sup> 以下
(第6公園)	平成 29 年 9 月 9 日~15 日	0.014	0.042	0. 025	であること

## 【取付道路工事及び本体建設工事中】

単位:mg/m³

<b>調木担</b> . 正	調査場所調査日・期間			調査結果			
神 鱼 场 川		工事前	工事前 予測値		計画値		
建設地南西側 (民家隣地)	平成 30 年 2 月 6 日~12 日	0.014	0.043	0.014	1時間値の1日平均値が0.10 mg/m³以下であり,かつ,1時間		
グリーンタウン (第6公園)	平成 30 年 2 月 6 日~12 日	0.014	0.042	0. 015	であり、パッス T 時間値が 0.20 mg/m³以下であること		

#### 3) 降下ばいじん

取付道路工事,本体建設工事が同時に施工されている状況においても環境保全計画値を下回りました。

環境保全措置を実施した結果,周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【取付道路工事中】

単位: t/km²/月

	調査場所	調査日・期間		調査結果	環境保全	
1	<u> </u>	<u> </u>	工事前	予測値	工事中	計画値
	建設地南西側 (民家隣地)	平成 29 年 5 月 24 日~ 6 月 31 日	0.1 未満	7.8	1. 1	71 100
	グリーンタウン (第6公園)	平成 29 年 5 月 24 日~ 6 月 31 日	0.1 未満	4.6	3. 6	20 以下

## 【取付道路工事及び本体建設工事中】

単位: t/km<sup>2</sup>/月

調査場所	調査日・期間		調査結果	環境保全	
则且物//	柳且口:朔印	工事前	予測値	工事中	計画値
建設地南西側	平成 30 年 1 月 12 日~	0.1 未満	7.8	1 /	
(民家隣地)	2月12日	0.1 /个们	1.0	1.4	20 以下
グリーンタウン	平成 30 年 1 月 12 日~	0.1 未満	4. 6	1 5	20 1/2
(第6公園)	2月13日	0.1 未満	4.0	1.5	

## 2 騒音・振動

## 1) 騒音

取付道路工事、本体建設工事が同時に施工されている状況においても環境保全計画 値を下回り,工事車両の通過による騒音についても,環境保全計画値を下回りました。 環境保全措置を実施した結果,周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【取付道路工事中】 単位: dB

調査場所	   調査日・期間		環境保全		
(工事)		工事前	予測値	工事中	計画値
建設地南西側 (民家隣地)	平成 29 年 5 月 30 日	42	64	42	85 以下
グリーンタウン (第6公園)	平成 29 年 5 月 30 日	43	62	40	00 以上
調査場所	調査日・期間		調査結果		環境保全
(工事車両)	明且口 別旧	工事前	予測値	工事中	計画値
国道 293 号交差点付近	平成 29 年 5 月 30 日	61	62	61	70 以下

#### 【取付道路工事及び本体建設工事中】

【取付道路工事及び本体建設工事中】						
調査場所	調査日・期間		調査結果		環境保全	
(工事)		工事前	予測値	工事中	計画値	
建設地南西側	平成30年1月11日~	42	64	45		
(民家隣地)	1月12日	42	04	40	0E 171 T	
グリーンタウン	平成30年1月11日~	43	62	42	85 以下	
(第6公園)	1月12日	43	02	42		

調査場所	調査日・期間		調査結果		環境保全
(工事車両)	明且日 朔則	工事前	予測値	工事中	計画値
国道 293 号交差点付近	平成30年1月11日~	61	62	63	70 以下

#### 2)振動

取付道路工事,本体建設工事が同時に施工されている状況においても環境保全計画値を下回り,工事車両の通過による振動についても,環境保全計画値を下回りました。 環境保全措置を実施した結果,周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【取付道路工事中】 単位:dB

調査場所	調査日・期間		環境保全		
(工事)		工事前	予測値	工事中	計画値
建設地南西側 (民家隣地)	平成 29 年 5 月 30 日	30 未満	56	30 未満	75 17 -
グリーンタウン (第6公園)	平成 29 年 5 月 30 日	30 未満	56	30 未満	75 以下
調査場所	油木口 地眼	調査結果			環境保全

調査場所	<b>細木口、</b>	調査結果			環境保全
(工事車両)	車両) 調査日・期間		予測値	工事中	計画値
国道 293 号交差点付近	·交差点付近 平成 29 年 5 月 30 日		32	30 未満	70 以下

#### 【取付道路工事及び本体建設工事中】

単位: dB

調査場所	調査日・期間	調査結果			環境保全
(工事)	神紅口・利用	工事前	予測値	工事中	計画値
建設地南西側(民家隣地)	平成30年1月11日~ 1月12日	30 未満	56	30 未満	55 NT
グリーンタウン (第6公園)	平成30年1月11日~ 1月12日	30 未満	56	30 未満	75 以下

調査場所	調査日・期間	調査結果			環境保全
(工事車両)	神紅日・舟間	工事前	予測値	工事中	計画値
国道 293 号交差点付近	平成30年1月11日~ 1月12日	30	32	31	70 以下

#### 3 水質 (浮遊物質量)

取付道路工事,本体建設工事いずれにおいて,環境保全計画値を下回りました。 環境保全措置を実施した結果,周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【取付道路工事中】 単位:mg/L

	調査場所	調査日・期間	調査結果			環境保全
神鱼场別			工事前	予測値	工事中	計画値
	建設地北側沢	平成 29 年 10 月 7 日	1 未満~21	軽微	35	50 以下

【本体建設工事中】 単位:mg/L

調査場所	調査日・期間	調査結果			環境保全
<u> </u>	- 調宜日・利用	工事前	予測値	工事中	計画値
建設地南側沢下流	平成 30 年 1 月 9 日	1 未満~27	軽微	1未満	50 以下

[参考] 降雨時の値は建設地北側沢で510,建設地南側沢下流で110でした。

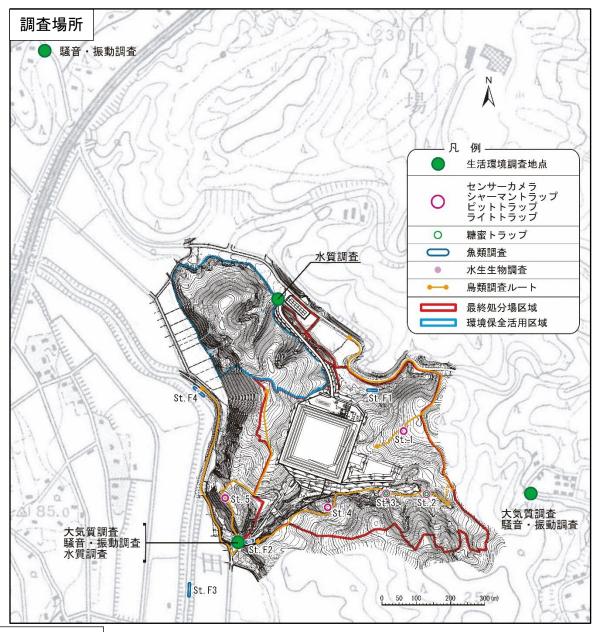
# 調査結果及び評価の概要 【自然環境】

確認された希少な動植物のうち工事による影響が及ぶと予測される以下の9種(保全対象種)について、生育・生息調査を行いました。

分	類	保全対象種	調査結果
植物		サワシロギク オオアオカモメヅル	生育を確認できました。
		クモキリソウ	
	鳥	オオタカ	生息を確認できませんでした。 →飛翔は確認されましたが,営巣は確認できませんで した。なお,工事前から営巣は確認できていません。
	類	ハヤブサ	生息を確認できました。
		サンコウチョウ	生息を確認できました。
動物	魚類	スナヤツメ	生息を確認できませんでした。 →数年に一度の大雨時に水かさが増し、遡上できる条件が整った時にのみ観察ができると考えられます。
		ムカシヤンマ	生息を確認できました。
昆虫類	虫	虫 ウスミミモンキリガ	生息を確認できませんでした。 →生息環境であるハンノキ林が衰退しつつあることに加え、絶対数が少ないことが主要因と考えられます。そのため、ハンノキを増やす保全措置を行います。

# 調査結果及び評価の概要 【総括】

環境保全措置を実施した結果、生活環境に関するすべての項目において環境保全計画値を下回りました。自然環境においても保全対象種の生育・生息が確認できました。 以上のことから、周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。



## 保全対象種9種



